

中級 観光デジタルデータ活用講座

「観光デジタルデータを読み解く～その解析・解釈の方法」

～オンラインZoomリアルタイム講座～

講師：東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授 清水哲夫

【概要】

DMOや観光協会などの地域における観光振興組織にとって、勘や経験だけに基づかない**デジタル時代の到来**に対応する意思決定が不可欠です。なかでも、通信会社や情報サービス会社が取得する位置情報や検索に関連するデータは、誘致プロモーションに大きな力を発揮するWebマーケティングデータだけでは分からない旅行者のタビナカの詳細行動を把握できるポテンシャルを秘めており、地域での旅行者の高い消費額や満足の実現に向けてその積極的な活用が求められます。

しかし、位置情報・検索データの存在や種類は何となく理解しているものの、取得されるデータの特徴を十分に理解していないため、またそれらデータを使った分析の結果を適切に読み解く技術を持ち合わせていないために、せっかく活用の意思を持っていても十分に使いこなせない事例が見られます。

本講座は、現在あるいは将来の**地域観光振興組織のリーダーで、位置情報・検索データの活用に関心がある方**を対象に開講するもので、これらデータの特徴を体感的に理解するとともに、結果の解釈方法の基礎を身につけます。

【募集人数】 8名

【参加費】 無料

※講座内容の検証データを取得させていただきます

◆Zoomによるリアルタイムオンライン形式にて開催

◆参加条件:Zoomが利用可能かつ、フリー地理情報システムソフト QGISをインストールできるPC(Windows, Macのいずれも可)を準備すること。また、講座2日程ともに参加可能なこと。

【講座内容】 2021年 3月1日(月)・2日(火) 18:00-21:00

開講前	時間	内容 (参加者にはe-mailにて動画のURLをお知らせいたします)
事前学習	約30分	動画閲覧：観光現象を分析するためのデータのバリエーションと特徴を理解する
3月1日	時間	内容
1限	18:00-19:30	PC演習：東京の目的地検索の特徴を自分で分析してみる
2限	19:40-20:20	総合演習：自分の分析結果を多面的に読み解く
3限	20:20-21:00	総合討議：コンサルタントによる東京の目的地検索傾向分析の結果を読み解く
3月2日	時間	内容
1限	18:00-19:30	PC演習：東京のインバウンド観光客の流動・滞留の特徴を自分で分析してみる
2限	19:40-20:20	総合演習：自分の分析結果を多面的に読み解く
3限	20:20-21:00	総合討議：コンサルタントによる東京のインバウンド観光客の周遊分析の結果を読み解く

※状況によりゲスト講師の追加や休憩時間、内容を変更させて頂く場合があります

【応募方法】 <<募集期間：2021年2月22日まで>>

※ただし応募が定員を大幅に超える場合は早期に締め切らせて頂きます

◆参加条件をご確認の上、下記のWebフォームよりお申込みください。応募者多数の場合は、ご記入内容にて選考の上、参加の可否をe-mailにてご連絡させていただきます。



【応募フォーム】 <https://forms.gle/VcFfy575RWrdTQP9>

■お問合せ先■

【都との連携事業について】

東京都立大学法人 経営企画室 企画財務課
Tel:03-5990-5968

【講座・申込について】

東京都立大学 都市環境学部 観光科学科
平田徳恵 (e-mail) n-hirata <at> tmu.ac.jp
(<at> を@に変えてお送りください)